

陳 情 文 書 表

(子ども若者はぐくみ局)

(令和4年4月20日回付)

受 理 番 号	2 8 6 5	受 理 年 月 日	令 和 4 年 4 月 2 0 日
件 名	民間保育園等職員の給与等運用事業補助金削減の中止等		
要 旨	<p>私たちは、保護者の立場から、子供の権利と最善の利益の保障のため、保育制度や保育施設の拡充を求めてきた。</p> <p>京都市は令和4年度から民間の保育園に対する補助金の削減を進めることを決めた。総額は約13億円、約80パーセントの保育園が削減対象となり、二、三千万円を超える削減となる園も少なくない。</p> <p>保育制度に対する私たち保護者の願いは、大きく分ければ、保育園に入れること、安心できる保育の質の確保、経済的な負担の軽減の3点である。これらの願いは、保護者の置かれた立場によって優先度が変わりうるものであるが、中でも子供の日々の生活に関わる保育の質の確保は最も重要であり、子供たちが保育園で健やかに成長できることは、保護者にとって一番の願いである。そして、日々の生活を通じて最も影響を受ける子供たちは、自分から声を上げることはできない。</p> <p>今回の補助金の削減は、例えば2,000万円の削減となる園では四、五人分の保育士の給与がなくなってしまうほどの大きな影響がある。日々献身的に子供たちの健やかな成長を支える保育園の先生方に対して、京都市がどうしてもこのような対応をするのか保護者として全く理解できない。保育園の先生方はコロナ禍でも感染リスクの不安を抱えながら、子供たちの健やかな成長と保護者の就労を支えてくれた。また、特にベテランの先生が多い保育園ほど減額が大きくなる。ベテランの先生方は子育て経験のある方も多く、保護者としていろんな相談ができる掛け替えのない本当に頼れる存在である。今回の補助金の削減はベテランの先生方の存在を軽視するもので、保護者として全く賛同できない。若手の先生たちもこれまでのような昇給の見込みがなくなり、早期退職を選択するようになれば、将来に向けても質の高い保育が失われていくことになる。</p> <p>さらに、補助金の削減によって、給食の質が下がったり、アレルギー対応が難しくなったり、保育士の余裕がなくなり障害児保育の受入れが難しくなったりするなど、ほかにも様々な影響が考えられる。</p> <p>保育学の研究では、保育の質は先生たちの労働条件に左右されると言われている。今回の補助金削減は京都市が実施する公的保育の質の低下を招き、子供たちに悪影響を及ぼす。しかしながら、京都市から保護者への説明はこれまで一切されていない。</p> <p>ついては、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 京都市は、令和4年度からの補助金の削減を中止すること。 2 保育園の職員が将来にわたり安心して働き続けられるように、昇給を保障する仕組みを作ること。 3 補助金削減により、子供たちの育ちや保育にどのような影響があるのかを科学的に検証し、その結果を保護者に向けて説明すること。 		
陳 情 者			
回付委員会	教 育 福 祉 委 員 会		